

アセスメント(受診)

15,000円(税抜)/1名

受診者のリーダータイプ、適職診断、コンピテンシーと個性(適性・資質)を合わせた診断結果に よる「パフォーマンス発揮指数」を数値化します

フィードバック・セッション

~上司様向け個人カルテ読み方セミナー~

105,000円(税抜)

上司様向けに、「個人カルテ」の読み方と結果を指導に活用するためのコーチングのポイントを ご紹介します(所要時間:2時間/30名迄)

フィードバック・セッション

~本人様向け個人カルテ読み方セミナー~

87,500円(税抜)

ご本人様向けに、「個人カルテ」の読み方をご説明します(所要時間:1時間/30名迄)

個人フィードバック・カウンセリング

20,000円(税抜)

個人へのフィードバックをコンサルタントが行います(所要時間:45分/1名)

「適性・資質とコンピテンシーのギャップ」の組織分析

50,000円(税抜)

個人のコンピテンシーの伸びしろを組織分析

オーダーメイド組織分析(Organization Report) 要ご相談

パーソナル・アジェンダの各項目に関して職種/組織/職位など、ご要望に応じて分析します

※表示されている価格は税別価格です。

東芝ビジネスエキスパート株式会社 〒105-0011 東京都港区芝公園1-8-4 NREG芝公園ビル https://shibajuku.toshiba-hrd.co.jp/

TEL:03-5408-1509 9:00~12:00、13:00~17:00 (土・日・祝日・年末年始ほか、当社休業日を除く) Mail:shibaiuku@hrd.toshiba.co.ip



パーソナル・アジェンダ®

Human Force Analysis

事例集



人財分析 個人カルテ

人財分析 個人カルテ

パーソナル・アジェンダ®~活用事例のご紹介~

パーソナル・アジェンダの結果を個人と組織の人材育成に

活用し、組織のパフォーマンス向上の成果を上げた事例をご紹介します。

◇ 事例:A社 営業担当(約300名)

明確な指針に基づいた戦略的な育成と指導により営業パフォーマンス向上

パフォーマンス分析の結果から自社の営業モデルを検討し、必要なスキルを確認。 現場での部下指導ポイントの明確化、教育の適正化を図り人を育てる風土を醸成。

1回目の結果を元に検討した、営業モデルに必要な「コンセプチュアルスキル」と「コーチング」を強化する ための教育メニューの実施により育成と指導の成果が現れ、2回目には営業担当のパフォーマンスが向上。

目的

ビジネスゴールを踏まえた「パフォー マンスモデル」を策定。人材育成方針 を定め、教育の適正化を図る。

実施内容

パーソナル・アジェンダ実施<1回目>

- ◆ 営業担当の現状レベルの確認
- パーソナル・アジェンダ実施<2回目>
- ◆「パフォーマンスモデル」とのギャップを 埋める最適な教育計画策定
- ◆「コーチング」「コンセプチュアルスキル」の強化

課題

社員の人間力のレベルは 他社に比べてどうなんだろう? どのように育成したらよいか?

成果

- ヒューマンスキルアップ
- 自己認知による行動変革意識の

- 醸成
- 共創するスキルの習得

「人間力基本ゲージ」で全てのスキルが伸長





●コンセプチュアルスキル強化研修 コンセプチュアルスキル強化のための 研修を実施した部門での、明らかなコン セプチュアルスキルの伸びを確認。 「グラフィックファシリテーション」 「ストラクチャードコミュニケーション」 「BMG(ビジネスモデルジェネレーション)」 「ファシリテーション」 「提案型営業実践プログラム」

2年間の伸長率TOP15名へのインタビュー※200~1031点の伸び(総配点4180点)

1 尊敬できる人との仕事

●コーチング力、影響力、知識・経験が ある上司と共に仕事をする (相談すると適切なアドバイスをくれる) ●若手が活発に動ける環境がある

2 経験が増える・達成感を得る

- ●大規模案件を受注できた経験
- ●営業活動発表会、メンターなど

3 新企画の研修への参加

- ●本人の力量に合わせて仕事を任せて●新規研修に参加することで新しい 情報を得られる(マインドセット含む) ●長期プログラム研修により、知識が
 - 定着するとともにコミュニティができた ●主体的に行動する意欲が出た

4 意識の変化から外向きな行動へ

- ●上司、経験、研修の影響を受け、主体
- ●顧客の人脈開拓、業界の人脈開拓、 外部コミュニティ参加など外向きな 活動が増え、プライベートもスポーツ を始めるなど充実

◇ 事例:B社 人材育成部門(29名)

変化の激しい時代を生き抜くため、個々の自律を促し組織を活性化

チームの課題解決を共同で行う風土を醸成。自発的に学ぶ場を提供し、自己の成長 を促し組織のパフォーマンス向上。

朝礼での最新技術情報の共有や、レベルアップや知識共有を目的とした定期的な研修実施、eラーニング での自己啓発の機会提供により、自ら学ぶ力を醸成。ヒューマンスキル人間力が強化された。

目的

常に最新状況を捉え、自ら考え動ける 自律型リーダー人材の育成

実施内容

パーソナル・アジェンダ実施<1回目>

- ◆ 組織全体の現状レベルの確認
- パーソナル・アジェンダ実施<2回目>
- ◆ 全員参加のブレーンストーミングのワーク ショップでの課題解決スタイルを定着化
- ◆ レベルアップや知識共有を目的とした定期 的な研修実施
- ◆ eラーニングで自己啓発の機会提供

課題 与えられたことはしっかり

ことが足りない

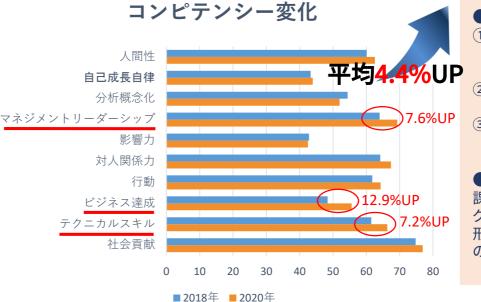
成果

●ビジネス達成につながるコンピ テンシーの大幅アップ

できるが、自ら考え行動する

- 自分の意思・判断によって責任を 持って実行する、マネジメントリー ダーシップカの伸長
- 自ら学び行動する姿勢の強化

ビジネスを達成するために必要なコンピテンシーの値が大きくアップ



●学びの場を提供

- 1)全体研修実施
- 「ファシリテーション研修」 「コミュニケーション研修」
- ②最新AI・ICT知識の勉強会
- 技術チームによる発表からの学び合い
- ③自己啓発の機会を提供
- ITトレンド、ビジネストレンドを学ぶeラーニング

●自ら考え意見する風土づくり

課題解決や価値創造の際に、ブレーンストーミン グワークショップで、メンバーが協同で暗黙知を 形式知に変える「共同化」の活動により、個人間 の対話や思索を共有する風土の醸成